

医療機関の職員向けの研修

平成 28 年度

「医療事故調査制度研修会」（公益社団法人 日本歯科医師会へ委託）

歯科の特殊性を網羅した事例を用い、医科との適切な連携のあり方、また院内調査に対する支援と報告書の作成まで、全国の歯科医療機関に関わる医療関係者の人材を育成することを目的とした研修。

（開催日）

平成 28 年 10 月 29 日(東京)

平成 28 年 10 月 30 日(大阪)

カリキュラム及び講師

10:30～10:32	開会 【東京】片山 繁樹（日本歯科医師会理事） 【大阪】瀬古口 精良（日本歯科医師会常務理事）
10:32～10:38	挨拶 【東京】村岡 宜明（日本歯科医師会専務理事） 【大阪】牧野 利彦（日本歯科医師会副会長） 今井 裕（日本歯科医学会連合副理事長）
10:38～10:47	来賓挨拶 名越 究（厚生労働省 医政局 総務課 医療安全推進室長） 今村 定臣（日本医師会常任理事） 【東京】高久 史磨（日本医療安全調査機構理事長）
10:47～12:07	（講演） 医療事故調査制度について 名越 究（厚生労働省 医政局 総務課 医療安全推進室長） 制度開始一年の現状と医療事故調査・支援センター 木村 壯介（日本医療安全調査機構常務理事） 支援団体の調査・支援の流れ 上野 道雄（日本医師会医療安全対策委員会副委員長・ 福岡県医師会副会長）
13:00～15:50	（研修） ①歯科における対応事例 （初期対応、聞き取り、日頃からの医療安全対策を含めて） 1) 診療所における対応事例 瀬古口 精良（日本歯科医師会常務理事） 2) 病院における対応事例 今井 裕（日本歯科医学会連合副理事長） ②ビデオ研修（聞き取り） ③グループワーク(初期対応、論点整理、報告書の作成までの流れ 今井 裕（日本歯科医学会連合副理事長） ④質疑応答
15:50～16:10	（発表） 病院側、診療所側から各 1 グループ
16:10～16:20	（質疑応答）
16:20～16:25	（総括） 瀬古口 精良（日本歯科医師会常務理事）
16:25～16:30	閉会 今井 裕（日本歯科医学会連合副理事長）

受講者：歯科医師 206 名、歯科技工士 1 名、歯科衛生士 4 名、看護師 3 名、計 219 名

アンケート：講義・演習の理解度及び有用度